

事業番号 2022 - 文科 - 21 - 0223

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

事業名	大学が保管するアイヌ遺骨の返還に向けた手続き等に関する調査研究			担当部局	研究振興局	作成責任者				
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	大学研究基盤整備課	大学研究基盤整備課長 黒沼 一郎				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	・アイヌ施策の総合的かつ効果的な推進を図るための基本的な方針(令和元年9月6日閣議決定) ・「個人が特定されたアイヌ遺骨等の返還手続きに関するガイドライン」について(通知)(閣副第363号 及び 26文科振第126号) ・「大学の保管するアイヌ遺骨等の出土地域への返還手続きに関するガイドライン」について(通知)(閣副第831 及び 30文科振第336号 及び 国北総第91号)					
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大学が保管しているアイヌ遺骨について、アイヌの人々への返還に向けた手続き等を実施することや、慰霊施設への集約を実施すること等を通じ、返還手続き等に関するアイヌの方々の信頼を確保する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大学が保管しているアイヌ遺骨の返還・集約に向けた手続き等について、その検討や実施等を行う。具体的には、「大学の保管するアイヌ遺骨等の出土地域への返還手続きに関するガイドライン」に基づく返還手続きや、慰霊施設への集約、慰霊施設に保管されているアイヌ遺骨の状況把握・調査等を行い、アイヌ遺骨の返還・集約を推進する。									
実施方法	直接実施									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	10.3	7.6	6.7	6	6			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		10.3	7.6	6.7	6	6			
	執行額		8.7	1.2	0.2					
執行率(%)		84%	16%	3%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		84%	16%	3%						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	委員等旅費	3.3	3.3	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。						
	職員旅費	1.2	1.2							
	諸謝金	1	1							
	庁費	0.5	0.5							
	計	6	6							
活動内容 (アクティビティ)	大学が保管しているアイヌ遺骨について、関係者の理解及び協力の下で、アイヌの人々への遺骨等の返還等を進め、アイヌの人々による尊厳ある慰霊の実現を図る。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	アイヌ遺骨を保管している全ての大学が、遺骨の返還・集約に向けて適切な取組を行う	大学が保管しているアイヌ遺骨の返還・集約に向けた手続き等に関し、会議等を開催した回数	活動実績	回	4	4	3			
			当初見込み	回	5	5	4	4	4	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	当該年度執行額/開催回数 ※ 予算内訳のうち、会議開催に係る執行額			単位当たり コスト		0.1	0.1	0.1	0.1	
				計算式	/	0.2/4	0.2/4	0.1/3	0.2/4	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 年度	
	アイヌ遺骨を保管している大学のうち、有識者検討会における報告書等に基づいた取組を行っている大学の割合	適切な取組を行っている大学の割合(適切な取組を行っている大学/アイヌ遺骨を保管している12大学)	成果実績		%	100	100	100	100	
			目標値		%	100	100	100	100	
			達成度		%	100	100	100	100	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」報告(平成21年7月) 個体特定(遺骨の一体化)に係る基本的な考え方(平成29年3月23日大学が保管するアイヌ遺骨の返還に向けた手続き等に関する検討会) 大学の保管するアイヌ遺骨等の出土地域への返還手続きに関するガイドライン(平成30年12月) 大学等におけるアイヌの人々の遺骨の保管状況の再調査結果(平成31年4月 文科省調べ)									
政策評価、 新経済・財政再生計画との 関係	政策評価	政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化							
		施策	8-2 基礎研究・学術研究の振興	政策評価書 URL	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-04.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-04.pdf</a>					該当箇所
	新経済・財政再生 計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-						
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-						
		該当箇所	-							
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の 必要性	項目			評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	本事業は、「アイヌ文化の復興等を促進するための民族共生の象徴となる空間の整備及び管理運営に関する基本方針について(平成26年6月13日閣議決定)」及び「アイヌ施策の総合的かつ効果的な推進を図るための基本的な方針(令和元年9月6日閣議決定)」において、国の施策として具体化されているものであり、国民や社会のニーズを的確に反映しているものである。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業は上記閣議決定において具体化されている、アイヌの人々による尊厳ある慰霊の実現に資するものであるとともに、アイヌ遺骨の返還手続の実施や象徴空間への集約に向けた手続の詳細を検討のための事業であり、地方自治体や大学に委ねる性質のものではなく、国が実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	本事業は上記閣議決定において具体化されている、アイヌの人々による尊厳ある慰霊の実現に資するものであるとともに、アイヌ遺骨の返還手続の実施や象徴空間への集約に向けた手続の詳細を検討のための事業であり、政策の優先度が高い事業である。					
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	支出先の選定に当たっては、金額や条件等を確認しており、妥当である。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	会議等に係る旅費については可能な限りパックや安価な航空券を利用するとともに、諸謝金については金額や条件等を確認し、コストの削減に努めており、単位当たりコスト等の水準は妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-					
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	大学が保管するアイヌ遺骨の返還に向けた手続等に関する在り方の検討に資するという事業目的に照らし、真に事業の目的を達成するために必要な費目・使途に限定している。						

	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	会議等に係る旅費については、可能な限りパックや安価な航空券を利用するなどして、コストの削減に努めている。
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	アイヌ遺骨を保管している大学において、有識者検討会における報告書等に基づいた取組が等しく適切に行われており、成果目標に見合った成果実績が挙げられている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	当該事業の実施に当たっては、国の責務として優先的に実施すべき事業であるとともに、上記のとおり妥当性と競争性を確保しており、効果的かつ低コストで実施している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	大学が保管するアイヌ遺骨の返還・集約に向けた手続き等に関する検討を着実に進めており、見込みに見合った活動実績が得られている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は、「アイヌ文化の復興等を促進するための「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営に関する基本方針について(平成26年6月13日閣議決定)」及び「アイヌ施策の総合的かつ効果的な推進を図るための基本的な方針(令和元年9月6日閣議決定)」において国の施策として具体化されている、アイヌの人々による尊厳ある慰霊の実現に資するものであり、国の責務として優先的に実施すべき事業である。事業の実施に当たっては、コストの削減に努めるとともに、検討会等において意見を取りまとめ、それを実施するなど、着実に事業が推進されているものである。	
	改善の方向性	本事業における検討を踏まえた各大学の取組や課題について、国として継続的にフォローアップ等をしており、このことを通じて成果指標の水準等の本事業の効果(成果)の検証を適切に行う。 併せて、アイヌ遺骨を保管する大学と国が強固に連携をした上で、アイヌの人々による尊厳ある慰霊の実現、アイヌの方々の信頼確保に向けて、フォローアップ結果を適切に本事業の内容に反映させる。	
<b>外部有識者の所見</b>			
外部有識者による点検対象外			
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>			
事業内容の一部改善の	この事業は、当事者の心情に考慮する必要性等から長期的な視点が必要だが、成果指標については100%を達成しているため、指標の設定等について工夫が必要である。		
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>			
改年度内検討に	本事業の推進に当たっては、関係者の置かれた状況等も十分に考慮する必要があるが、引き続き、適切な成果指標の設定について検討を行う。		
<b>備考</b>			
-			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	新27-0024			
平成28年度	209			
平成29年度	216			
平成30年度	215			
令和元年度	文部科学省 - 0206			
令和2年度	文部科学省 0207			
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

大学が保管しているアイヌ遺骨の返還に向けた手続等について、検討を行い、関係大学の体制整備を推進するために、必要な会議への出席及び外部有識者との意見交換などの旅費等を措置する。

文 部 科 学 省  
(0.24百万円)

↓ その他(直接支給)      ↓ その他(直接支給)      ↓ その他(直接支給)      ↓ 請負【随意契約(少額)】

A.委員等旅費(1名)  
0.01百万円

B.職員旅費(1名)  
0.01百万円

C.諸謝金(9名)  
0.13百万円

D.庁費(4社)  
0.10百万円

大学が保管しているアイヌ遺骨の返還・集約に向けた手続等について、検討を行うために、必要な会議等に委員等が出席するため等の旅費

会議、外部有識者との打合せ、慰霊施設への集約のために職員を派遣する旅費

大学が保管しているアイヌ遺骨の返還・集約に向けた手続等について、検討を行うために、必要な会議等に出席した際の諸謝金

会議等の開催に係るその他経費等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

